

第 21 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会

議 事 録

1. 開催日時 平成 28 年 1 月 8 日 (月) 10:00~12:00

2. 開催場所 奈良市役所北棟 6 階 第 22 会議室

3. 委 員

<出席者>

副 会 長 京都大学大学院工学研究科都市社会工学専攻教授 藤井 聡
委 員 近畿運輸局奈良運輸支局長 (代理) 稲留 健一郎
委 員 奈良市自治連合会代表 (代理) 新堂 順規
委 員 社団法人奈良市観光協会会長 (代理) 山田 伸治
委 員 西日本旅客鉄道株式会社 近畿統括本部総務企画課長 (代理) 内田 通
委 員 近畿日本鉄道株式会社 鉄道本部企画統括部営業企画部長 福寫 博
委 員 社団法人奈良県バス協会専務理事 西本 光良
委 員 奈良交通株式会社乗合事業部長 (代理) 岡本 英樹
委 員 奈良県タクシー協会専務理事 吾妻 孝義
委 員 奈良県タクシー協会奈良市部会業務部長 豊田 平和
委 員 奈良県交通運輸産業労働組合協議会事務局長 大西 秀樹
委 員 奈良県奈良警察署長 (代理) 横井 忠男
委 員 奈良県警察本部交通部交通規制課長 (代理) 朝山 昭彦
委 員 奈良県奈良土木事務所長 (代理) 花本 純一
委 員 奈良県県土マネジメント部まちづくり推進局次長 堀内 秀格
委 員 奈良市市民生活部長 (代理) 谷奥 哲彦

<欠席者>

会 長 奈良市長 仲川げん
委 員 近畿地方整備局奈良国道事務所長 若尾 将徳
委 員 社団法人奈良市商店街振興会長 正木 康雄
委 員 奈良県県土マネジメント部次長 荒 和弘

事務局 奈良県県土マネジメント部道路環境課
奈良市市民生活部交通政策課

4. 議事

◆事務局からの説明

- (1) 連携計画の目標達成状況について
- (2) 平成 27 年度春季・秋季の取組結果
- (3) 平成 28 年度の実施内容（案）
- (4) その他 平成 26 年度監査報告

◆審議内容（主な意見）（●：委員の意見 ○：事務局回答）

(1) 連携計画の目標達成状況・平成 27 年度春期・秋期の取組結果について

- 公共交通の手段分担率が、平成 27 年秋に減っているが理由は何か。
- 平成 26 年は、アンケートのサンプルに偏りがあったと考え、今回はサンプルに偏りが出ないように配布した。留意点としては、特定の時間に集中しないようにし、団体客と判断できる場合は代表者のみに配布、年代・性別に偏りがないように配布した。
- JR 奈良駅の駐車場の利用状況はどうか。
- JR 地下の駐車場は概ね 406 台で満車になるが、平成 27 年の正倉院展期間には、1 日当り 387 台で、ほぼ満車である。
- ぐるっとバスの満足感が増加し、不満足が減少している背景は何か。
- ぐるっとバスが定着してきたこともあり、ホームページでもリンク等を貼り、広報を充実しているため、満足されていると考えている。
- 看板のデザインを変え、わかりやすくなった影響も考えられる。
- 関東方面からのお客をターゲットにしたぐるっとバスの割引券を検討いただきたい。
- ご意見を参考に今後検討する。
- 道中で看板を見てパークアンドライドを利用した方が増えている原因は何か。
- 169 号の道路上に看板を新しく追加し、また、分かり難い交差点や第二阪奈を降りた所に横断幕を追加した効果と考えている。
- 旅行速度は少しずつ悪化してきているが、大宮通りの近鉄奈良駅から県庁東交差点間の東向きの渋滞について原因は把握しているのか。
- 奈良公園近くの駐車場へ向かう来訪者の車が集中すると考えている。
- 大仏前駐車場に入れずに待機しているバスが一番の停滞の元だと考える。
- 大仏前駐車場については、予約システムの導入以降、駐車場満車に伴う「待ち」は解消できている。現在、県庁横にバスターミナルの整備計画を検討中であり、ターミナルを整備することで、大仏殿の方に向かうバスを減らす取り組みを考えている。
- 車で来訪する方に公共交通機関で来ていただくにはどうすればよいか、さらに改善を検討してはどうか。
- 了解した。
- 奈良市役所の取組みはエコ通勤事業所で登録しているのか。
- 登録については検討している。登録後は、公共団体や民間事業者等に広めていく考えである。

2) 平成 28 年度の実施内容（案）

- 大宮通りにバスターミナルが出来た際には、ぐるっとバスの西ノ京までの延長を検討いただきたい。
- ご意見を参考に検討する。
- 公共交通で来訪する場合の中心市街地の滞在時間を把握してはどうか。
- 了解した。

平成 28 年度の実施内容について、事務局の提案内容で了解されました。

以上